

MPE720 Ver.7.39 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.39 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.38 → Ver.7.39 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	オートコンプリート機能を追加しました。	新規機能
2	ロボティクスソリューション機能を追加しました。	新規機能
3	SigmaWin+機能連携において、機能改善を行いました。	機能強化
4	通信プラットフォームに通信ログを出力する機能を追加しました。	機能強化
5	リアルタイムトレースに「MP2000 互換」モードを追加しました。	機能強化
6	SVC のモーションコマンドに「絶対値エンコーダリセット」を追加しました。	機能強化
7	SVC のモーションコマンドに「マルチターンリミット設定」を追加しました。	機能強化
8	Σ -7C において、「内部/外部軸タイミング調整」機能を追加しました。	機能強化
9	Σ -7C の固定パラメータにパラメータを追加しました。	機能強化
10	MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に IMPORTLE 命令を追加しました。	機能強化
11	MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に EXPORTLE 命令を追加しました。	機能強化
12	モーションエディタの表示を改善しました。	改善
13	Expression 命令における表示処理を改善しました。	改善
14	システムモニタにおけるアラーム検知機能を改善しました。	改善
15	MC-Configurator の起動処理を改善しました。	改善
16	CF カード転送の転送処理を改善しました。	改善
17	自動ウォッチ機能の現在値モニタを改善しました。	改善
18	Σ -7C におけるバージョン表示を改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ -V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

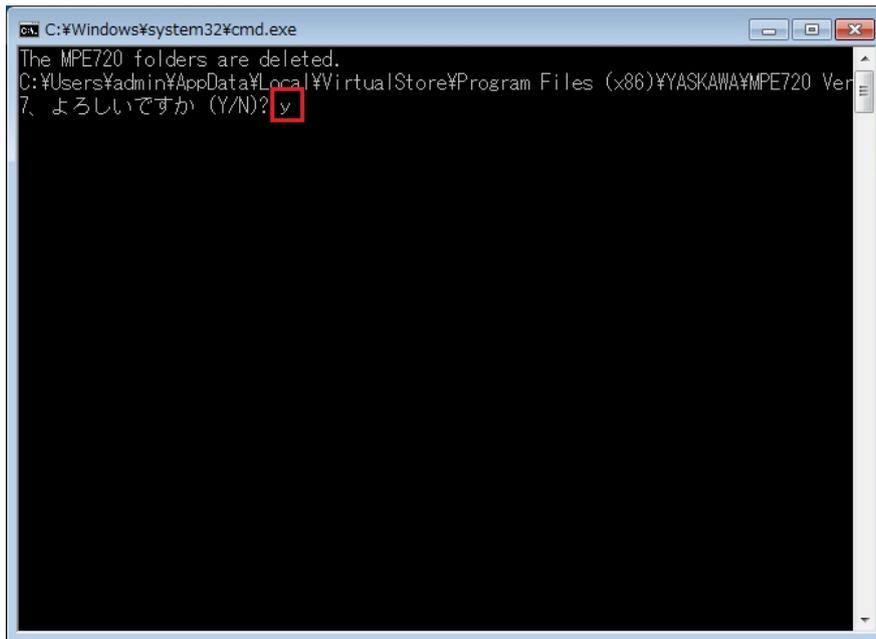
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

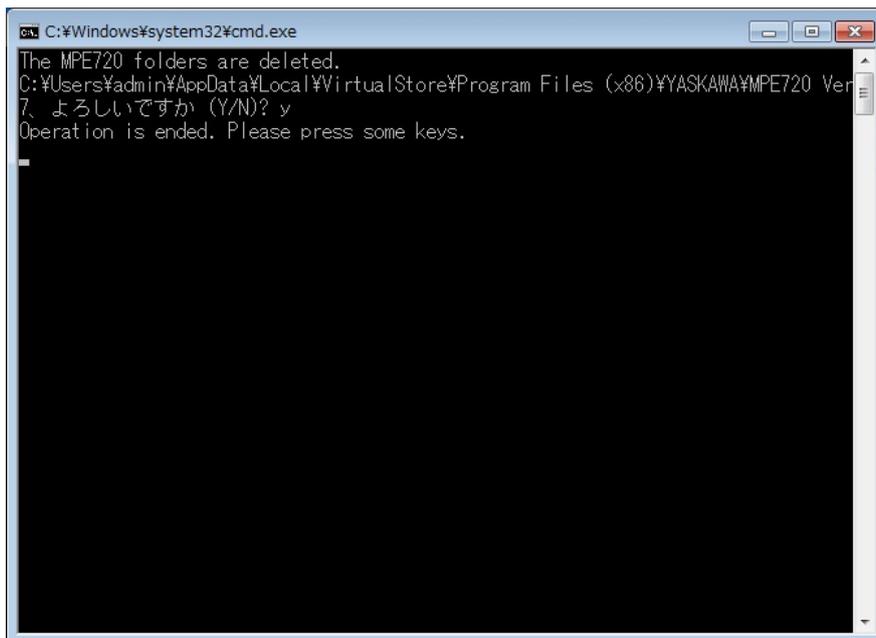


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7、よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

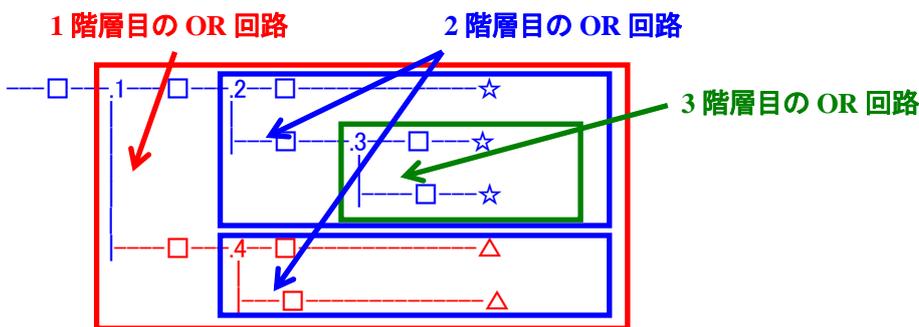
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

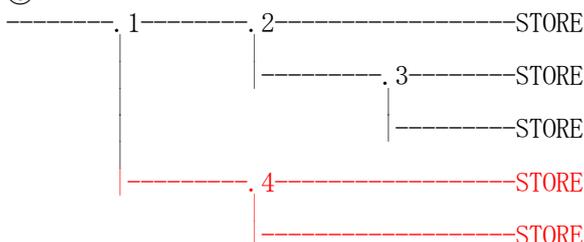
△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

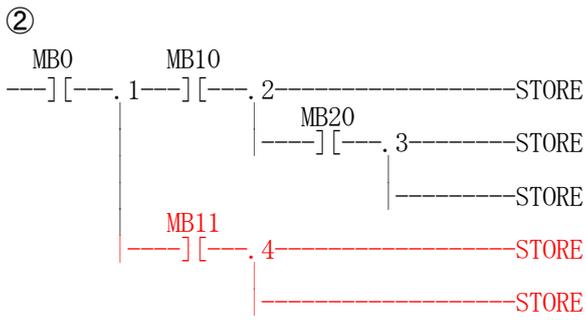
【NG パターン】

①



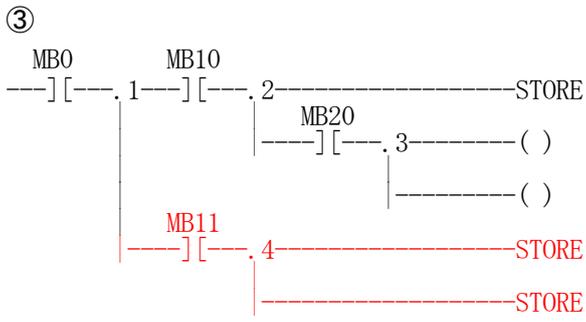
最小回路パターン

ここが NG となります



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

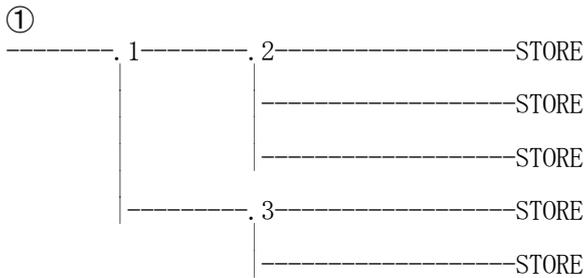
ここが NG となります



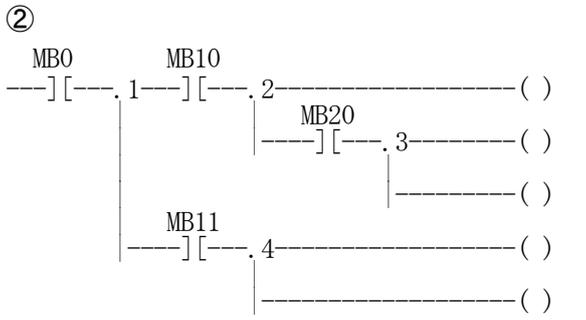
ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があると NG

ここが NG となります

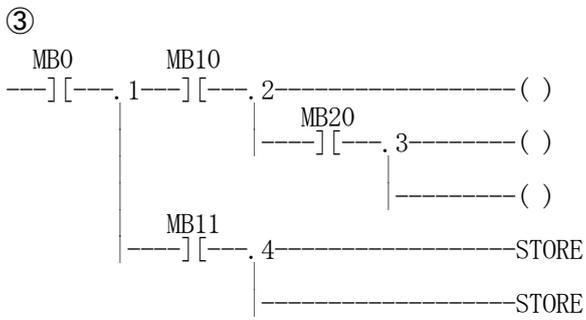
【OK パターン】



2 階層の OR 回路なので OK



すべてコイルなので OK



すべてコイルなので OK

1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24
8	MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報	Ver7.24→Ver7.26
9	MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報	Ver7.26→Ver7.27
10	MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報	Ver7.27→Ver7.28
11	MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報	Ver7.28→Ver7.29
12	MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報	Ver7.29→Ver7.30
13	MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報	Ver7.30→Ver7.31
14	MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報	Ver7.31→Ver7.33
15	MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報	Ver7.33→Ver7.34
16	MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報	Ver7.34→Ver7.35
17	MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報	Ver7.35→Ver7.36
18	MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報	Ver7.36→Ver7.37
19	MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報	Ver7.37→Ver7.38

2. 修正内容詳細

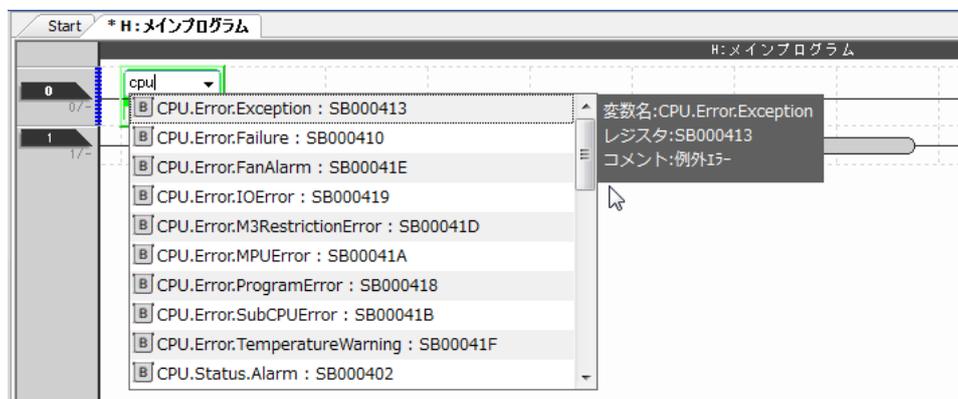
No.1 オートコンプリート機能を追加しました。

ラダーエディタにおいて、変数/レジスタを入力する際に、登録された変数の候補を表示し、入力をアシストするオートコンプリート機能を追加しました。また、レジスタリストとモーションエディタにおいて、作成済のプログラムの候補を表示する機能を追加しました。

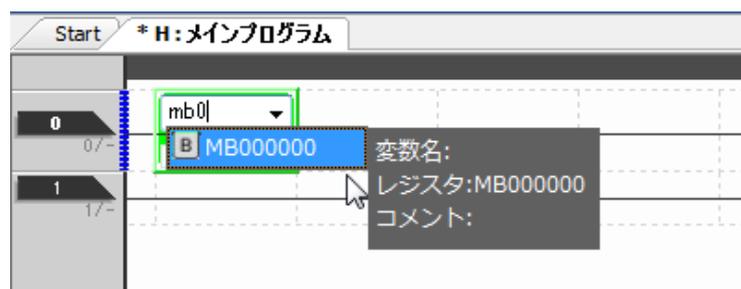
○ラダー命令のオペランド入力

1. 変数を入力する際に、入力可能な以下の変数を表示します。

- ・システム変数
- ・軸変数
- ・入出力変数
- ・グローバル変数
- ・定数変数
- ・ローカル変数



2. レジスタを入力する際は、リストの先頭に該当するレジスタ番号を表示します。

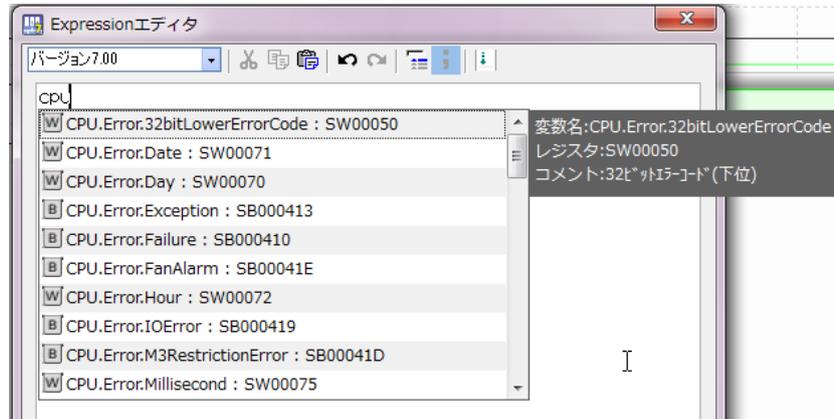


3. 命令において使用可能なレジスタ種別・データタイプ以外は表示されないようフィルタリングしてリスト表示します。

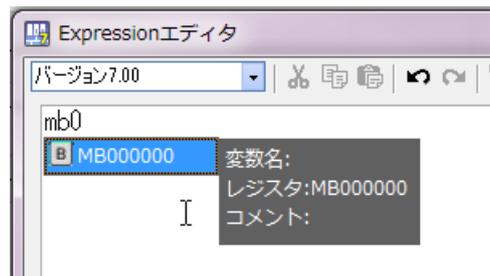
○Expression エディタの入力

1. 変数を入力する際に、入力可能な以下の変数を表示します。

- ・システム変数
- ・軸変数
- ・入出力変数
- ・グローバル変数
- ・定数変数
- ・ローカル変数

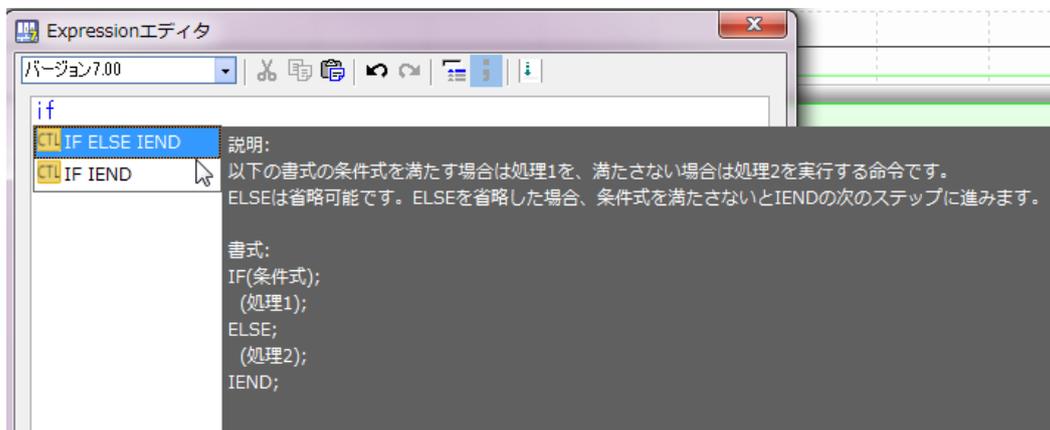


2. レジスタを入力する際は、リストの先頭に該当するレジスタ番号を表示します。



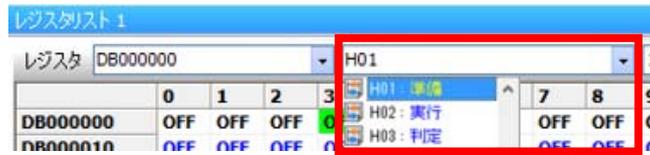
3. 命令において使用可能なレジスタ種別・データタイプ以外は表示されないようフィルタリングしてリスト表示します。

4. Expression 命令で使用可能なプログラム制御命令(IF~IEND、IF~ELSE~END、WHILE~WEND、FOR FEND)についても命令の説明と書式を表示し、入力をアシストする機能を追加しました。



○レジスタリストのプログラム入力

1. プログラム番号の入力箇所に、選択可能なプログラムの一覧を表示するようにしました。



○モーションエディタのユーザ関数入力

1. UFC/FUNC 命令の入力箇所に、選択可能なプログラムの一覧を表示するようにしました。



【対応バージョン】

○コントローラ

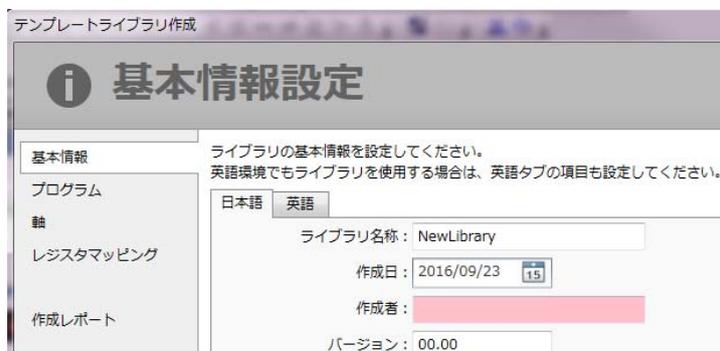
コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.2 ロボティクスソリューション機能を追加しました。

任意のアプリケーションをライブラリとしてモジュール化し、再利用できる機能を追加しました。

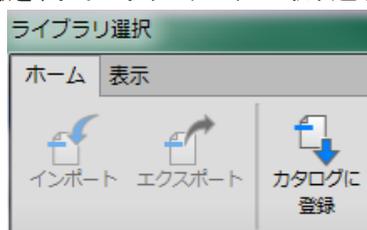
○テンプレートライブラリ作成機能

プロジェクトファイルを解析し、選択されたアプリケーションをライブラリとしてモジュール化する機能を追加しました。



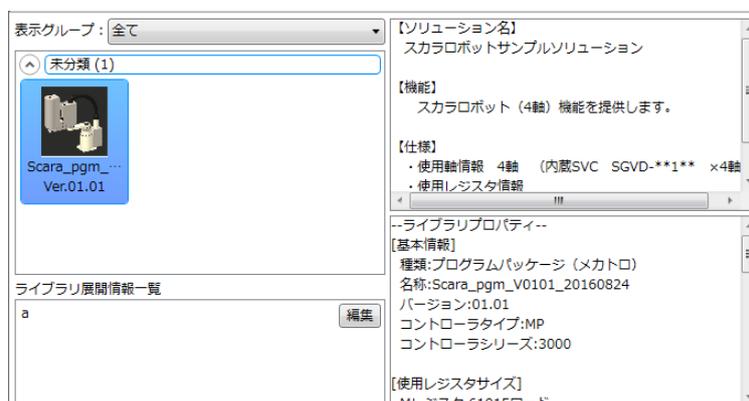
○テンプレートライブラリ取り込み機能

ライブラリファイル及びライブラリの展開情報を、ライブラリカタログに取り込む機能を追加しました。



○テンプレートカタログ機能

取り込んだライブラリを管理し、カタログとしてライブラリが参照できる機能を追加しました。

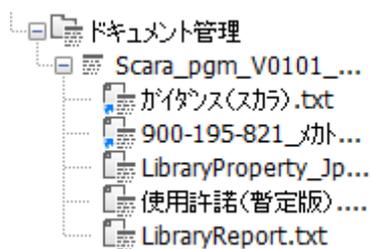


○テンプレートライブラリ展開機能

カタログ機能に追加したライブラリをプロジェクトファイルに取り込む機能を追加しました。

ODキュメント管理機能

プロジェクトファイルに取り込んだ、ライブラリが持っている各種ドキュメントファイルを管理する機能を追加しました。



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 3 SigmaWin+機能連携において、機能改善を行いました。

MPE720Ver.7 から起動される SigmaWin+のサーボパラメータ画面について改善を行いました。

○パラメータ編集画面表示

1. コントローラの値とサーボの値を同時に確認できる機能を追加しました。

SGD7C-2R8AMAA	
Axis0101	
コントローラの値	サーボの値
1	1 : CW 方向を正転…
0	0 : 予約パラメータ (…

2. コントローラの値の列の表示／非表示は、表示設定の「コントローラの値表示」ボタンで切り替え可能です。

表示設定

階層表示 : Off

説明表示 : On

コントローラの値
表示 : On

3. コントローラの値とサーボの値で差異があるパラメータは赤色で表示されます。

SGD7C-2R8AMAA	
Axis0101	
コントローラの値	サーボの値
380	400

○パラメータ編集メニュー

1. コントローラタブを追加しました。
2. 「コントローラの値を画面以上に読み込む」ボタンを追加しました。
コントローラに保存されているサーボのバックアップパラメータをコントローラから再読み込みします。
3. 「サーボの値をコントローラに書き込む」ボタンを追加しました。
サーボの値をバックアップパラメータとして、コントローラに書き込みます。
4. 「コントローラの値をサーボに書き込む」ボタンを追加しました。
コントローラに保存されているサーボのバックアップパラメータをサーボに書き込みます。



5. 以下の機能において、パラメータ編集画面に表示されている全ての軸に対して、一括操作が可能な「全軸」機能を追加しました。

- ・サーボから読み込む(全パラメータ)
- ・サーボへ書き込む(全パラメータ)
- ・コントローラの値を画面以上に読み込む
- ・サーボの値をコントローラに書き込む
- ・コントローラの値をサーボに書き込む



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

○サーボツール

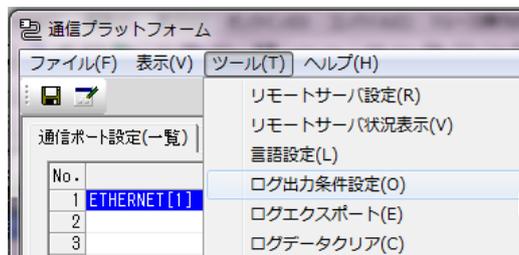
コントローラ	対応バージョン
SigmaWin+Ver.7	Ver.7.16 以降

No. 4 通信プラットフォームに通信ログを出力する機能を追加しました。

トラブルシュート用に、通信プラットフォームを介して行われる通信データをロギングする機能を追加しました。

通信プラットフォームのツールメニューに以下の機能を追加しました。

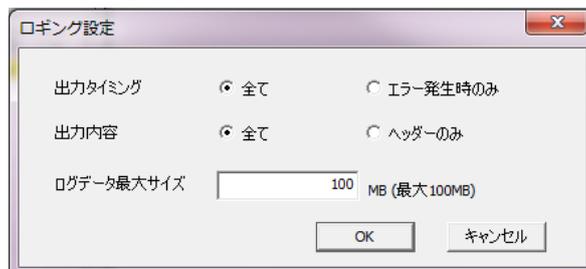
- ・ログ出力条件設定
- ・ログエクスポート
- ・ログデータクリア



○ログ出力条件設定

通信ログの出力条件を設定できます。

出力条件に一致した通信データをロギングします。



○ログエクスポート

取得した通信ログデータをエクスポートする機能を追加しました。

○ログデータクリア

通信ログデータを初期化する機能を追加しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 5 リアルタイムトレースに「MP2000 互換」モードを追加しました。

リアルタイムトレースのサンプリング & トリガ設定画面に「トレースモード」の選択項目 (MP3000 標準と MP2000 互換) を追加しました。



○MP3000 標準モード

1. トレース定義をコントローラへ書き込んだ場合、「トレース開始」ボタンをクリックすると、トレースを行います。
2. トレース停止トリガ成立後にトレース開始トリガがオンした場合、トレースを行いません。
3. トレース停止トリガ成立とトレース開始トリガが同時にオンした場合、トレースを行いません。

○MP2000 互換モード

1. トレース定義をコントローラへ書き込んだ場合、「トレース開始」ボタンをクリックしなくても、自動的にトレースを行います。
2. トレース停止トリガ成立後にトレース開始トリガがオンした場合、自動的にトレースを行います。
3. トレース停止トリガ成立とトレース開始トリガが同時にオンした場合、自動的に1スキャン分のトレースを行います。

○トレースモードヘルプ表示

「トレースモード」の横に、「?」ボタンを追加し、クリックするとトレースモードの仕様説明の PDF ファイルを開く機能を追加しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.30 以降
Σ-7C	Ver1.01 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

No. 6 SVC のモーションコマンドに「絶対値エンコーダリセット」を追加しました。

SVC のモーションコマンドに「絶対値エンコーダリセット」を追加しました。

○設定パラメータ

1. 「モーションコマンド:OWxx08」に、「22:絶対値エンコーダリセット」を追加しました。
2. モーションコマンド一覧に、「絶対値エンコーダリセット」を追加しました。

○モニタパラメータ

1. 「モーションコマンドレスポンスコード:IWxx08」に、「22:絶対値エンコーダリセット」を追加しました。
2. 「モーションコマンドステータス:IWxx09」に、「Bit7 絶対値エンコーダ初期化完了」を追加しました。

○エンジニアリングマネージャの設定パラメータ

1. 「モーションコマンド:OWxx08」に、「22:絶対値エンコーダリセット」を追加しました。

○エンジニアリングマネージャのモニタパラメータ

1. 「モーションコマンドレスポンスコード:IWxx08」に、「22:絶対値エンコーダリセット」を追加しました。
2. 「モーションコマンドステータス:IWxx09」に、「Bit7 絶対値エンコーダ初期化完了」を追加しました。

○印刷、軸のセットアップウィザード機能、軸運転モニタ

1. 「モーションコマンド」に、「22:絶対値エンコーダリセット」を追加しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ内蔵 SVC	Ver1.30 以降
Σ-7C 内蔵 SVC	Ver1.01 以降
MP2000 シリーズ内蔵 SVC	今後対応予定

○オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVC-01	今後対応予定

No.7 SVC のモーションコマンドに「マルチターンリミット設定」を追加しました。

SVC のモーションコマンドに「マルチターンリミット設定」を追加しました。

○設定パラメータ

1. 「モーションコマンド:OWxx08」に、「39:マルチターンリミット設定」を追加しました。
2. モーションコマンド一覧に、「マルチターンリミット設定」を追加しました。

○モニタパラメータ

1. 「モーションコマンドレスポンスコード:IWxx08」に、「39:マルチターンリミット設定」を追加しました。

○エンジニアリングマネージャの設定パラメータ

1. 「モーションコマンド:OWxx08」に、「39:マルチターンリミット設定」を追加しました。

○エンジニアリングマネージャのモニタパラメータ

1. 「モーションコマンドレスポンスコード:IWxx08」に、「39:マルチターンリミット設定」を追加しました。

○印刷、軸のセットアップウィザード機能、軸運転モニタ

1. 「モーションコマンド」に、「39:マルチターンリミット設定」を追加しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ内蔵 SVC	Ver1.30 以降
Σ-7C 内蔵 SVC	Ver1.01 以降
MP2000 シリーズ内蔵 SVC	今後対応予定

○オプションモジュール

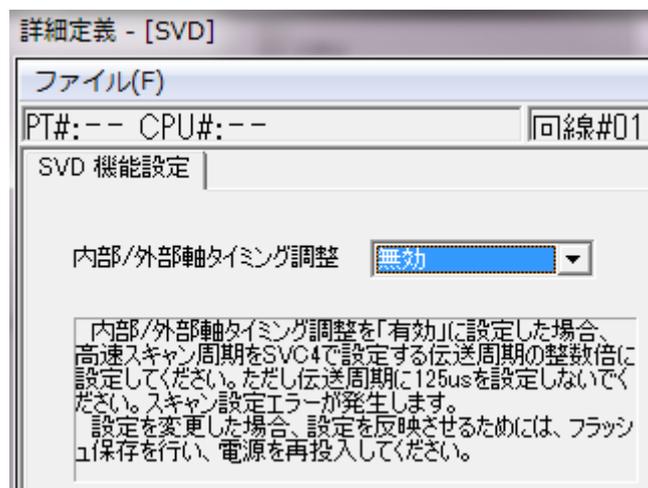
モジュール	対応バージョン
SVC-01	今後対応予定

No. 8 Σ -7C において、「内部/外部軸タイミング調整」機能を追加しました。

SVD の詳細定義画面において、「内部/外部軸タイミング調整」機能を追加しました。

・内部/外部軸タイミング調整

Σ -7C における内部軸(SVD)のタイミング調整が行われることで、内部軸と外部軸(SVC)とが同期します。 Σ -7C のアプリケーションプログラムから送られた指令が、内部軸と外部軸に同じタイミングで伝わります。本機能により、 Σ -7C では最大 6 軸が同期できるようになります。



・SVD のモニタパラメータの「アラーム:ILxx04」に「Bit16: スキャン設定エラー」を追加しました。

[Bit:12]サーボドライブ「マントタイムアウト」	IB80052
[Bit:13]ABSエンコーダ回転量オーバー	IB80053
[Bit:16]スキャン設定エラー	IB80056

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Σ -7C のみ該当
Σ -7C	Ver.1.01 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは該当しません。

No.9 Σ -7C の固定パラメータにパラメータを追加しました。

Σ -7C の SVD モジュールの固定パラメータに、「機能選択フラグ 1 Bit9: シンプル ABS 無限長位置管理選択」を追加しました。

1 2 *		Axis0101 回線#01 軸#01 SGD7C-*****
0:	運転モード選択	0: 通常運転モード
1:	機能選択フラグ1	0000[H]
[Bit:0]	軸タイプ選択	0: 有限長軸
[Bit:1]	ソフトリミット正方向有効選択	0: 無効
[Bit:2]	ソフトリミット負方向有効選択	0: 無効
[Bit:3]	オーバーラベル正方向有効選択	0: 無効
[Bit:4]	オーバーラベル負方向有効選択	0: 無効
[Bit:9]	シンプル ABS 無限長位置管理選択	0: 無効
[Bit:A]	サーボモータ定数自動読み込み機能	0: 有効

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Sigma-7C のみ該当
Σ -7C	Ver.1.01 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは該当しません。

No.10 MP3000 シリーズコントローラのリダー命令に IMPORTLE 命令を追加しました。

MP3000 シリーズコントローラに以下の命令を追加しました。

・IMPORTLE 命令

データ番号ではなく、ファイル名(ASCII)を格納したレジスタ番号を指定することで、任意のファイル名で出力することができます。それ以外は、IMPORTL 命令と同様の入出力項目です。

また、以下の変更を実施しました。

1. ラダー命令ツリーに、IMPORTLE 命令を追加しました。
2. ラダー命令のコンパイル処理に、IMPORTLE 命令を追加しました。
3. システム構造体に、IMPORTLE 命令の構造体を追加しました。

IMPORTLE	
[B] Execute	[B] Busy
DB000000	MB000000
[B] Abort	[B] Complete
DB000001	MB000001
[W] Drv-No	[B] Error
MW00020	MB000002
[L] Size	
ML00100	
[W] Ch-No	
MW00020	
[A] Dest	
MA00010	
[A] Param	
MA00100	
[A] FILENAME	
MA00500	

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.30 以降
Σ-7C	Ver1.01 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

No.11 MP3000 シリーズコントローラのリダー命令に EXPORTLE 命令を追加しました。

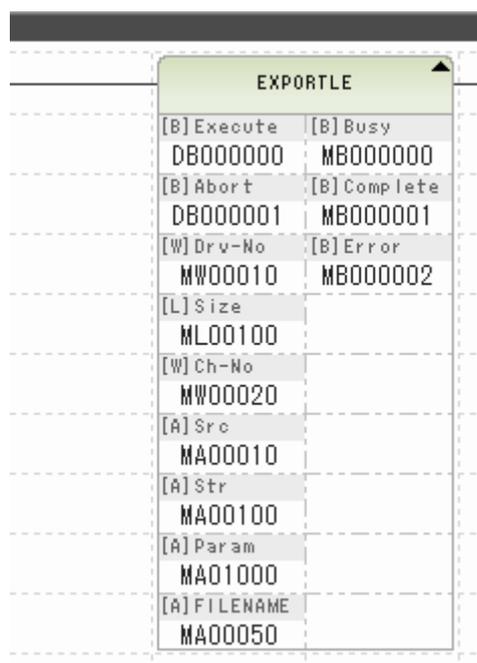
MP3000 シリーズコントローラに以下の命令を追加しました。

・EXPORTLE 命令

データ番号ではなく、ファイル名(ASCII)を格納したレジスタ番号を指定することで、任意のファイル名で出力することができます。それ以外は、EXPORTL 命令と同様の入出力項目です。

また、以下の変更を実施しました。

1. ラダー命令ツリーに、EXPORTLE 命令を追加しました。
2. ラダー命令のコンパイル処理に、EXPORTLE 命令を追加しました。
3. システム構造体に、EXPORTLE 命令の構造体を追加しました。



EXPORTLE	
[B] Execute	[B] Busy
DB000000	MB000000
[B] Abort	[B] Complete
DB000001	MB000001
[W] Drv-No	[B] Error
MW00010	MB000002
[L] Size	
ML00100	
[W] Ch-No	
MW00020	
[A] Src	
MA00010	
[A] Str	
MA00100	
[A] Param	
MA01000	
[A] FILENAME	
MA00050	

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.30 以降
Σ-7C	Ver1.01 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

No.12 モーションエディタの表示を改善しました。

モーションエディタで、行の最終文字に全角の”タ”などの文字列を入力した状態で、カーソルキーで行を移動すると、「引数が正しくありません。」のエラーメッセージが表示される現象がありましたので、改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

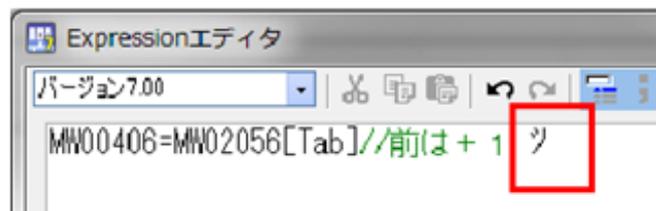
No.13 Expression 命令における表示処理を改善しました。

Expression 命令において、以下のコメントを記述すると文字化けする現象がありましたので、改善しました。

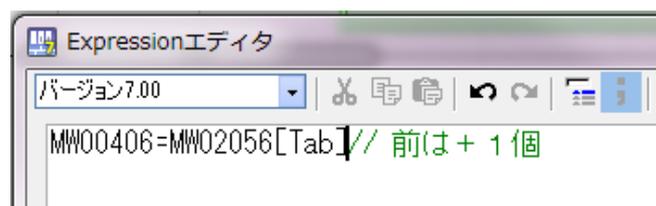
設定文字

例) MW0406=MW02056[Tab]// 前は+1個

<改善前>



<改善後>



【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.14 システムモニタにおけるアラーム検知機能を改善しました。

1. アラーム LED (SB000402) が ON+7SEG 状態 (SW16200) ≠ 0 のときに、システムモニタでアラームを検知出来ない現象がありましたので、改善しました。
2. SVC32 において 17 軸目以降のサーボでアラームが発生した場合に、アラームを検知できない現象がありましたので、モジュール構成定義のモーションレジスタサイズに従い、占有回線の軸数分のステータスを監視するように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.15 MC-Configurator の起動処理を改善しました。

MPE720 Ver.5 のアプリケーションコンバート機能で MP920 から MP2200-04 に変換したプロジェクトファイルを使用し MC-Configurator を起動した場合、起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない現象がありましたので、正常に起動するように処理を改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.16 CF カード転送の転送処理を改善しました。

転送機能の CF カード (メディア) へ書き込みにおいて、対象を MP コントローラ転送に設定する場合に、デフォルトフォルダ (MP_BKUP¥BACKUP) が存在しない場合、エラーメッセージが表示されて転送できない現象がありましたので、フォルダを作成した後に転送するように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.17 自動ウォッチ機能の現在値モニタを改善しました。

モーションプログラムで変数宣言した変数についても、自動ウォッチ機能で現在値をモニタできるように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ-7C	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.18 Σ-7C におけるバージョン表示を改善しました。

MC-Configurator のモジュール構成定義画面のバージョン表示機能において、Σ-7C のバージョンが 0000H と表示される現象がありましたので、正常に表示されるように改善しました。

【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Sigma-7C のみ該当
Σ-7C	コントローラのバージョンに依存しません
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは該当しません。